

小施策評価シート (平成 28 年度実績評価)

施策コード	15	施策名	良好な景観の形成	
小施策コード	15-1	小施策名	景観保存対策の充実	
小施策 主管課等コード	0975000	小施策 主管課等名	景観政策課	
評価責任者名	藤村 淳		内線番号	7290
評価シート作成者名	村上 智		内線番号	7295

Step 1 施策目標の達成状況

まちづくり指標	目指す 方向	単位	25年度 実績 (当初値)	27年度 実績	28年度 実績	31年度 目標値	36年度 目標値
まちづくり評価アンケート調査「誇れる市街地の景観があると思う」と答えた市民の割合	↑	%	70.1	70.8	69.7	74.7	79.3
まちづくり評価アンケート調査「誇れる田園・丘陵地の景観があると思う」と答えた市民の割合	↑	%	59.6	59.6	52.3	69.4	79.3
まちづくり評価アンケート調査「誇れる山間地の景観があると思う」と答えた市民の割合	↑	%	69.9	71.1	66.6	74.6	79.3
まちづくり評価アンケート調査「屋外広告物(屋外に表示・設置されているはり紙や看板などは、景観に配慮されていると思う」と答えた市民の割合	↑	%	28.1	28.8	26.8	31.1	33.6
まちづくり評価アンケート調査「盛岡市の景観について、改善したい景観がある」と答えた市民の割合	↓	%	20.6	18.8	20.1	17.4	14.8

(↑：数値を上げていくことを目標とする指標， ↓：数値を下げていることを目標とする指標， →：数値を維持することを目標とする指標)

Step 2 小施策の全体像

小施策の概要等（構成事業は別紙ロジックモデルシートのとおり）

対象（誰（何）を対象として行うのか）	意図（対象をどのようにしたいのか）
街並み，山並み	優れた景観が守られる。
市民・建築関係者	景観に対する意識が高まる。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 盛岡らしい都市景観形成の実現のため，各地域の景観特性が活かされた景観形成を図る必要がある。 盛岡固有の佇まいを残す盛岡町家などの歴史的景観を保全・継承する必要がある。 優れた自然景観と歴史的環境とが調和する個性豊かな都市環境を次世代に継承していく必要がある。
取組の方向性	景観計画に基づき，地域の特徴を生かした景観形成促進地域などの指定を行うとともに，優れた景観や建造物などの保全・活用について，市民との協働による取組を進め，景観に配慮した快適で美しく活気ある街並み形成を進める。

Step 3 小施策指標の推移

小施策の指標	目指す方向	単位	25年度実績 (当初値)	27年度実績	28年度実績	31年度目標値	36年度目標値
まちづくり評価アンケート調査「誇れる市街地の景観があると思う」と答えた市民の割合	↑	%	70.1	70.8	69.7	74.7	79.3
まちづくり評価アンケート調査「誇れる田園・丘陵地の景観があると思う」と答えた市民の割合	↑	%	59.6	59.6	52.3	69.4	79.3
まちづくり評価アンケート調査「誇れる山間地の景観があると思う」と答えた市民の割合	↑	%	69.9	71.1	66.6	74.6	79.3
まちづくり評価アンケート調査「盛岡市の景観について，改善したい景観がある」と答えた市民の割合	↓	%	20.6	18.8	20.1	17.4	14.8

（↑：数値を上げていくことを目標とする指標， ↓：数値を下げていることを目標とする指標， →：数値を維持することを目標とする指標）

Step 4 市民ニーズの把握

まちづくりアンケート調査の結果、「誇れる景観がある」と答えた割合が減少し、「改善したい景観がある」と答えた割合が増加している。

景観審議会において、新たな景観重要樹木、景観重要建造物の指定の検討を求められている。

Step 5 役割分担分析

1 各主体の役割の状況

		役割の内容	役割分担 比率 (%)
各主体の 役割の状況	市	所管する保存建造物等の適切な保全と活用及び民間所有の歴史的建造物等の保全及び改修への支援	50
	国・県・ 他自治体		
	市民・ NPO	歴史的建造物等の適切な維持管理の実施	50
	企業・ その他		

2 今後の市の役割の比重の方向性とその理由

- 市の役割の比重を拡大していくことを検討する
- 現状維持（現在の市の役割の比重を維持する）
- 市の役割の比重を縮小していくことを検討する

（理由）

景観重要建造物への意向及び保全・改修への支援を充実する必要があるため。

Step 6 前年度に分析した課題・改革改善案に対するアクション

1 平成28年度に分析した問題点・課題に対する改革改善案

改修の支援の拡充のために、国の補助制度の活用を進める。

2 1の改革改善案の実施状況

（A：着手済， B：平成29年度に着手（予定含む）， C：未着手または見送り）

改革改善案	具体的な取組（予定）内容	状況
国の補助制度の活用	29年度策定予定（30年6月国認可予定）の盛岡市歴史的風致維持向上計画に位置づけ、保全・改修に係る国庫補助制度の活用に向けた取組を進める。	B

3 2で挙げた取組状況がCの場合、その原因

Step 7 成果・問題点の把握

1 成果の把握と要因分析及び課題の設定

(1) 小施策の中で成果をあげた点

保存建造物及び盛岡市歴史的街並み保存活用計画の重点保存地区内の建築物の外観改修が実施され、保存建造物等が適切に維持管理され、良好な景観が保全された。

(2) 成果をあげた要因

所有者の歴史的建造物及び景観重要樹木の適切な維持管理等の実施及び市から民間所有者への補助金交付等の支援によるものである。

(3) さらなる成果向上に向けた課題（課題がある場合に記載）

改修補助制度の周知及び補助金の拡充

2 問題点の把握と原因分析及び課題の設定

(1) 小施策における現状の問題点

保存建造物等の老朽化が進んできていること等により、早急な改修の取組が必要である。

(2) 現状の問題点が生じている原因

所有者の高齢化により維持管理が難しくなっていること、改修に伴う多額の負担が伴うことによる。

(3) 分析した原因の解決に向けた課題

民間所有者への支援を充実させる必要がある。

Step 8 小施策と構成事業の関係性

1 小施策との結び付きが弱い、もしくは他の事業と重複していると考えられる事業

該当事業なし。

2 1で記載した事業についてその理由

3 1で記載した事業の今後の方向性（案）（縮小・廃止・統廃合等）

Step 9 Step 7, 8を踏まえた改革改善案

- ・ 改修の支援の拡充のために、国の補助制度の活用を進める。
- ・ 改修補助制度の周知を図る。